

小さな宴

おはようを言う暇すらもない朝の「あれ今何時？」は意外と余裕

朝日が味噌汁に差し込んでいた豆腐だと勘違いしたまますすった

行ってきますと言う時一人ただ一人雨外套はかけたまんまで

真ん中にみかん丸ごとひとつ入りゼリーを食べたくなるほどに夏

いつもより少し静かなアーケード今日の八百屋は休業日

真鯛の眼引きよせられるほど立派高いのか安いのか分からんな

スーパーで野菜買おうとしてみるがあいも変わらず少し高いな

玄関のジョーダン 1 に会釈して縁とゆかりの歓迎準備

そうめんの束の隙間のご挨拶未だに冬を匂わせている

特製の 1 晩漬け込み鶏肉を焼いたり揚げたりつまんでみたり

茹で上がるのをただ待ったこの時間バスタに笑われるような時間

思ってもないこと言いながら冷蔵庫にシュークリームを詰められた

雨垂れが穿ったようなレンコンを大人のために黄色とする

いつもより少しだけ良い日本酒と飲めない人のためのポカリと

キャベツとレタスの違いが分からぬ人が酔いの力で石ちゃんになる

親友が親友である所以とは創作料理も食べてくれること

気持ちよくお酒が飲めた幸せでつかりかけぬか漬けほじくりだした

まあまああの頃よりか大人だがトイレくらいは好きに使えば？

もう誰もそろそろ寝るかとも言わずラーメン食ってイビキかいてる

目覚めたらスマホの画面にうつってた知らない漫画おもしろい なんで？